



派遣生が研修の成果を報告 — 第23回青少年海外派遣事業 —

「第23回青少年海外派遣事業」の報告会が1月18日、内子自治センターで開かれ、派遣生12人が、研修成果や感想を発表しました。その一部を紹介します。

【スウェーデンの環境への取り組み】

スウェーデン滞在中、住宅街で落ち葉のリサイクルマークのついたゴミ箱を見つけました。この中に捨てられた落ち葉は、ゴミ処理場に運ばれ、電気や熱などのエネルギーに変わるそうです。落ち葉を勝手に燃やすことは禁止されています。このようなスウェーデンでの環境への取り組みは、内子町では行われていないので驚きました。

【ドイツの教育制度】

ドイツでは小学3年生から英語の授業が始まります。私たちが参加した3年生の授業では、日本では小学校6年生で勉強する「can」を学んでいま

した。9月から英語を勉強し始めたばかりなのに、みんなしっかりと英語を話したり、聞いたりとすることができていて驚きました。

授業の進め方も先生主導ではなく、生徒同士で次に発表する人を指名したり、教え合ったりしていました。どの教科も生徒同士で考えて授業を進めるスタイルだそうです。



活動の様子や資料をスクリーンに映しながら、発表する派遣生

国際理解講座

デリアナさんの編み物教室

外国語指導助手のデリアナさんとニットの小物入れを一緒に作ります。編み物や手芸の経験がない人でも、デリアナさんが基礎からゆっくり教えてくれるので大丈夫です。ぜひご参加ください。

- 日時 2月23日(金) 午後7時～9時
- 場所 内子自治センター
- 対象 高校生以上
- 定員 15人
- 参加費 500円
- 申込期限 2月16日(金)



寄附のお礼

(公財)内子町国際交流協会に寄附をいただきました。ありがとうございました。

- 金一封 伊予銀行、愛媛銀行、ローテンプルク・オブ・デア・タウバー市 ※敬称略

平成29年度・賛助会員の皆さんへ

平成29年度賛助会員の皆さん、ご入会ありがとうございました。

- 団体 11団体 ●個人 92人
- 協会では随時、賛助会員制度への入会および寄附金を受け付けております。詳細は、事務局までお問い合わせください。

図書館 へ 行こう

●親子読書のすすめ

親子読書とは親子で一緒に本を読んだり、本について話し合ったりするなど、本を通じてコミュニケーションをとることで、特に乳幼児期には、膝の上に子どもを乗せて一緒にペー ジをめぐることで、親子関係を深めることができます。子どもの心や言葉、想像力を育てることにもつながります。この時期に本に親しんだ子どもは、読書の面白さや楽しさを知っているの、小中学生になっても自発的に本を読むようになりま す。ぜひ家庭で楽しみながら親子読書をしてみてください。

▽内子町図書情報館・五十崎



返却ポストはここだよ！

分館・小田分館で借りた本は、3館ならどこへでも返却することができます。近くの図書館に借りたい本がない場合は、取り寄せもできます。▽休館日や開館時間を過ぎた場合は、返却ポストを

利用することができます。(DVDと紙芝居は不可)
▽県立図書館の本も内子町図書情報館で返却できます。その場合、県立図書館で貸出時に事前手続きをして、専用貸出バッグに入れて持ち帰り、期限内に内子町図書情報館で返却の手続きをします。

●2月企画展のご案内

《郷土が生んだ芸術家⑨》
▽米田吉盛展

「おはなし会」

▽土曜日・午後2時～

2月3日 ゆりかご

10日 むしこまど

17日 むしこまど

24日 どんぐり会

「文学講座」

▽2月17日(土) 午前10時～

▽内容 「新蔵人物語」を読む

▽講師 村山洋子さん

新着図書紹介

その他の新着情報はホームページをご覧ください。

♣一般図書



銀杏手ならい

西條奈加/著

小日向水道町の手習指南所「銀杏堂」で、子どもたちに読み書きや、算盤を教える萌。若き手習師匠の日々を描く時代小説



天才棋士加藤一二三 挑み続ける人生

加藤一二三/著

63年間に渡り「挑戦」を続けてきたレジェンド棋士・加藤一二三。印象深い対局や棋士にも触れながら、勝負、人生、家族について語り尽くす

♥児童図書



小学校では学べない一生役立つ読書術

齋藤孝/著

頭がよくなったり、みんなに好かれたり……受験生になっても、社会人になっても使える、子どものうちに身につけたい最強の読書術を紹介



さわれるまなべるさむいくにのどうぶつ

エミリ・マロンダン/文

アザラシの赤ちゃんのやわらかい毛や、ホッキョクグマのふさふさの毛を触ってみよう。子どもの好奇心や五感を刺激する、しかけ絵本